

第 66 回 発電用設備規格委員会 火力専門委員会 材料分科会 議事録

1. 日 時: 2013 年 2 月 18 日(月)13 時 30 分～16 時 50 分
2. 場 所: 日本機械学会 第 2 会議室
3. 出席者: 木村(NIMS)、尾崎(東電)、田村(パブ日立)、俣野(KHI)、伊藤(IHI)、清水(MHI)、戸田(NIMS)、齊藤(中電)
欠席者: なし
代理者: 仙波[伊勢田(新日鐵住金)]
オブザーバ: 根岸(関電)
事務局: 海野

4. 配付資料

- 66-1 . 第 65 回材料分科会議事録(案)
- 66-2 . 材料分科会委員名簿
- 66-3 . 第 62 回火力専門委員会議事録
- 66-4 . 第 17 回材料専門委員会議事録
- 66-5 . 第 63 回規格委員会議事録
- 66-6 . SI 換算ルール火力専門委員会書面投票結果報告他
- 66-7 . ファイル共有システムローカルルール(案)
- 66-8 . 審議レビュー票
- 66-9 . 2012 年版書面投票意見対応への検討状況
- 66-10 . ASME B31.1 材料のⅢ章への適用について

5. 議 事

(1) 前回議事録確認

[資料 66-1]

前回議事録(案)について確認を行なった結果、齊藤委員より事前に指摘されていた修正内容が反映されておらず、当該事項を反映することで議事録案は承認された。

(2) 分科会委員の確認

[資料 66-2]

新任候補として根岸氏が推薦され、次回火力専門委員会で推薦することが出席委員全員の賛成により承認された。また、北村委員の退任が報告された。再任委員は対象なしであることが報告された。また、副主査候補の互選が行われ、伊藤委員を次回火力専門委員会で推薦することが出席委員全員の賛成により承認された。

(3) 火力専門委員会・材料専門委員会・規格委員会他報告

(3-1) 火力専門委員会

[資料 66-3]

第 62 回火力専門委員会の審議内容のうち、材料分科会に関連する内容が報告された。特記事項は以下の通り。

- ・ 火力専門委員会委員・役員の推薦承認
- ・ 各分科会委員・役員の承認

- ・ 第 65 回材料分科会報告
- ・ 発電用火力設備規格 2012 年版の出版承認の報告
- ・ 発電用設備規格委員会運営規約・審議要領の改訂について
- ・ ファイル共有システムローカルルール作成について
- ・ ASME 規格値を規格に取り入れる場合の取扱いに関する内規の書面投票開始が承認されたことを報告
- ・ 2013年日本電気技術規格委員会の表彰候補者として火力専門委員会の木村委員を推薦することが承認されたことを報告

(3-2) 材料専門委員会報告

[資料 66-4]

第 17 回材料専門委員会の審議内容のうち、火力に関連する内容が報告された。特記事項は以下の通り。

- ・ 一般社団法人 原子力安全推進協会の設立について
- ・ Tracking List による審議未了案件(4件)の確認について
- ・ 材料事象の解説について
- ・ 材料規格高度化のための材料専門委員会へのレビュー依頼について
- ・ 圧力容器関連規格(JIS B8265,B8267)に関する状況説明について
- ・ 今後の活動方針について(検討課題6件)
- ・ 材料専門委員会委員長の選任手続きについて

(3-3) 規格委員会報告

[資料 66-5]

第 63 回規格委員会の審議内容のうち、火力に関連する内容が報告された。特記事項は以下の通り。

- ・ 火力専門委員会委員・役員の承認
- ・ 火力専門委員会報告
- ・ 火力専門委員会関連の審議事項は無し

(3-4) SI換算ルール火力専門委員会他書面投票結果報告

[資料 66-6]

標題の件、火力専門委員会および原子力専門委員会での書面投票結果を報告した。両委員会とも可決しており、今後発電用設備規格委員会での書面投票を行う予定。

◎ 火力専門委員会書面投票結果

書面投票番号:No. 60

投票議案名:日本機械学会発電用設備規格 ASME規格値を規格に取り入れる場合の取扱いに関する内規

書面投票期間:2012年11月26日～2012年12月26日

投票結果:可決

投票成立:委員総数の5分の4以上(20 票)の 22 票の投票があり、投票成立

投票採決:投票数の3分の2以上(15 票)の 22 票の賛成票があり、意見付反対票がなかったため、投票議案は可決された。

<投票内訳>

委員 24 名中 賛成 22 名
反対 0 名
保留 0 名
不投票 2 名

◎ 原子力専門委員会書面投票結果

書面投票番号: No. 299

投票議案名: 日本機械学会発電用設備規格 ASME規格値を規格に取り入れる場合
の取扱いに関する内規の提案の承認

書面投票期間: 2012年12月5日～2013年1月7日

投票結果: 可決

投票成立: 委員総数の5分の4以上(19 票)の 22 票の投票があり, 投票成立

投票採決: 投票数の3分の2以上(15 票)の 22 票の賛成票があり, 意見付反対票がなかつたため, 投票議案は可決された。

<投票内訳>

委員 24 名中 賛成 22 名
反対 0 名
保留 0 名
不投票 1 名

(4) 審議事項

(4-1) ファイル共有システムローカルルールについて

[資料 66-7]

昨年 10 月より運用開始しているファイル共有システムについて火力専門委員会および所属分科会内での共通ローカルルール案が提案され, 審議の結果このルール案に沿って運用を行なうことが承認された。なお, 本ルールは他の分科会および火力専門委員会でも審議の予定。

分科会等の審議に使用するレビュー票・規格原稿案は, 「会議資料」フォルダーにアップロードし, それらを修正したレビュー票・規格原稿案の最新版は, 「規格原稿案・レビュー票案」フォルダーにアップロードすることとした。

(4-2) レビュー票審議

[資料 66-8]

尾崎幹事より規格原稿の改訂作業にあたって, ファイル共有システムの規格出版原稿閲覧室からのダウンロードファイルを使用するように再度周知された。

- ・ 表 II-1-2 の修正内容に基づき修正要領が説明された。

(修正要領)

- ・ ASME 許容応力表は, A08 から A11 まで (A09, E10, A11) の変更点を確認
- ・ 許容応力表は, 左に JSME2012 年版, 右に JSME20XX 年版を並べ, 比較。
- ・ 変更理由は, 前回規格作成時の分類をベースとする。
- ・ 変更箇所は, 赤字とする。
- ・ 鋼種の追加取込可否, 許容応力表の変更 (変更内容・理由を明記) については, 分科会にて審議する。

・次回分科会では、表Ⅱ-1-2(ASME Section II 材, 鉄鋼材料)と表Ⅱ-1-4(ASME B31.1 材, 鉄鋼材料)について修正内容リストを作成し、変更内容を審議することとした。

(4-3) 2012 年版書面投票意見対応への検討状況について

[資料 66-9]

- ・ 引張強度の 95%規定
 - ・ STPL690, STBL690
 - ・ 備考(71)は備考(3),(4)に統合し、許容応力表を 2 行書きとする。
 - ・ 備考(3)はⅢ章適用対象外とする。
 - ・ 許容応力の設定根拠($S_y \times 0.5 (1-r)$)は火技解釈の第7章 液化ガス設備 第58条に記載されており、ボイラ及びその付属設備には適用できない。したがって、備考(43)はⅢ章適用対象外とする。
 - ・ 備考(43)の設定根拠($S_y \times 0.5 (1-r)$)で求めた許容応力の方が引張ベース(3.5)の許容応力よりも大きい場合と小さい場合がある。この点に関して JISB8267 の設定経緯を調査して、Ⅳ・Ⅴ章適用の是非を次回審議する。
- ・ サブサイズ衝撃試験関連
 - ・ 衝撃特性要求の JIS 材, ASME 材の統一は難しいことを確認した。
 - ・ 9%Ni 鋼の ASME 横膨出規定の反映要否は次回以降審議する。

(4-4) ASME B31.1 材料のⅢ章への適用について

[資料 66-10]

田村委員より ASME B31.1 材料の許容応力と Section II 材料の許容応力を比較したグラフについて説明された。審議した結果、B31.1 のほとんどの材料の許容応力は Section II の値と同一と判断できるが、一部の材料(A36, A283 及び 9Cr1MoV 鋳鋼等)では若干の違いが認められることが確認された。B31.1 材料のⅢ章への適用要否は構造分科会に再確認をとることとなった。

6. 次回開催予定

日 時: 2013 年 5 月 9 日(木) 13:30～17:00

場 所: 日本機械学会 第3・4 会議室

7. 添付資料

添付1: 審議履歴表

以 上